

出かけて  
みました

## 吉林省

# 長春市を訪ねて



村田嘉明  
(会員)

を散策、芙蓉路  
(勝利公園后側)  
の大型書店「聯合  
書城」で中国東北  
部の地図など購入

が建設中の「都市計画展覧館」  
の現場を案内して頂いた。  
24日(金)は吉林日帰り旅行  
に向かう。長春駅から高鉄動車  
組「吉林」行  
き「和諧号」  
に乗り  
トップ  
30分で  
「吉林  
駅」に



長春駅舎南口  
(駅舎周りは柵で工事中)

6月19日(日) 早朝中国東方  
航空で10時過ぎに上海浦東空港  
へ到着、乗り継ぎに4時間余り  
待ち、予定通り午後5時に長春  
龍嘉空港に到着し、友人の王俊  
峰氏と落ち合う。中国が誇る高  
速鉄道「龍嘉国際空港」から乗  
車し10分で「長春駅」についた。

工場敷地、工場の規模は想像し  
ていたより広大で、工場稼働後  
10年を経てブランド醬油「優和」  
は東北3省の都市で流通し中国  
東北部市民の食材として着実に  
販売を拡大している。その後、  
吉林省政府前バス停留所近くで  
下車し、旧居跡を訪問、一帯は

した。緑園区のホテルから10km  
弱の距離で雲助タクシーから80  
元請求され50元支払い降りた。  
正常運賃は約20元位。日本では、  
まず見られない事象だが、中国  
でもこのような悪質運転手は少  
ない。夜は義和路の陳万林夫妻  
宅で夕食をいただき、懇談。

22日(水)は外事弁公室に向

王夫人の阮征さんのマイカーで  
宿泊先の「錦江之星」ホテルに  
向かう。車窓の風景は2年前の  
訪問の時よりビル、マンション  
群が増えた印象。ホテルは昨年  
も泊まったが、室内設備も充実  
し宿泊料金も格安で4連泊で保  
証金(押金)8000元を支払い

「更地化」しビル建設工事が始  
まろうとしていた。旧居の接面  
道路広州路は全て立ち退き済で  
第48中学(旧八島小)は都市計  
画外で建物は残っていた。  
21日(火)市内中心部西広場

人民広場には巨大な威容を誇る  
「旧満洲中央銀行」現在は中国  
人民銀行の建物が目につく。近  
隣の長春市人民政府の建物に入  
り、外事弁公室の欧処長に昨年  
11月訪日以来で半年振りの再会  
を果たす。小一時間面談後、欧  
さん、鐘さんと3人で昼食。偽  
滿皇宮博物館近くに長春市政府

着き駅前から路線バスで目的地  
「文廟博物館」に着く。文廟  
(儒教の開祖・孔子を祀った廟)  
は1742年清の乾隆帝によっ  
て建立された博物館だが工事中  
で入れず、空振りだった。  
25日(土)王・阮征親子&阮  
征さんの父親と交流し、翌26日  
帰国の途に就いた。今回の長春  
訪問は、旧知の方との交流と長  
春市の発展を学ぶ旅だったが、  
現代中国が着実に発展している  
ことを感じた。

「預り証」をもちかう。

翌20日は、長春の万惠食品公  
司の工場を訪問した。友人の李  
永江氏と蘭家鎮、富孟路の工場  
へ向かう。11時前に工場に着き、  
総経理曹向志氏の出迎えを受け、  
醬油工場の製造現場を見学した。



右のグリーンベルトが  
旧居跡(広州路)

満皇宮博物館近くに長春市政府

ことを感じた。